



ユーザーズマニュアル

第2.0版



<u>指紋認証システム導入ガイド</u>

本製品は Windows10 のログオン認証機能である【Windows Hello】、製品 CD-ROM に収録されている指紋認証ソフトウェア【OmniPassSE】、別途配布の開発用【SREX-SDK4】のうち1つを選択してご利用可能です。

(SREX-SDK4 については、SREX-SDK4 に添付のドキュメントをご参照ください。)

本マニュアルの第2章では Windows Hello での使用について、第3章からは OmniPassSE での使用について説明を行っています。

第1章 はじめに

1-1.製品の特徴	5頁
1-2.安全にお使い頂くために	9頁
1-3.マニュアルの構成	11頁
1-4.製品に関するお問い合わせ	12頁

第2章 Windows Hello での使用

2-1.ドライバーインストール	13頁
2-2.指紋登録と認証	17頁

第3章 OmniPassSEのインストールと登録

3-1.Windows ログオンパスワード作成	20頁
3-2.0mniPassSE インストール	21頁
■OmniPassSE のインストール	
■OmniPassSE のアンインストール	
3-3.0mniPassSE ユーザー登録	25頁
■OmniPassSE ユーザー登録	
■OmniPassSE 認証ダイアログ	

第4章 OmniPassSEの使用

第

4-1.アカウント情報の記憶	30 頁
■Web ログオンパスワードの記憶	
■アプリケーションログオンパスワードの記憶	
■ID の管理	
4-2.暗号化と復号化	39頁
■暗号化	
■復号化	
■暗号化ファイルの共有	
5章 OmniPassSEの管理と設定	
5-1.ユーザーの追加と削除	44 頁
■ユーザーの追加	
■ユーザーの削除	

5-2.アカウント情報の管理 47頁

	49頁
■ユーザープロファイルのバックアップ	
■ユーザープロファイルの復元	
5-4. OmniPassSE コントロールセンターその他の設定	53頁
■ユーザーのデバイス登録の変更	
■認証デバイスの必須設定	
■緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にする	
■OmniPassSE へのログオン設定	

■暗号化/復号化の設定

- ■サウンドの設定
- ■タスクバーヒントの設定

■認証ウィンドウの設定



本章では SREX-FSU4G 指紋センサーおよび付属ソフトウェアの製品の特徴と使用上の注意点について説明しています。

SREX-FSU4G について

■ 場所をとらない USB ドングルタイプ

ノートパソコンの USB ポートに装着したまま持ち運べるコンパクト デザインの指紋センサーです。 本体側面の 12(W)×5(L)mm の黒色部分がセンサーエリアで、 弊社ロゴの下部には指紋センサーの動作状態を示す LED を装備。 小型でも使いやすい設計になっています。

■ ハイブリッド方式で確実な個人認証が可能

指紋認証エンジンにバイオメトリックス技術「特徴点抽出方式」を採用。 指紋の特徴点6か所以上の照合をおこないます。

さらに、本製品の特長である小型のセンサーエリアにて、

6か所以上の特徴点を照合しきれないケースにおいては、パターン・マッチング方式により指紋の形状 特徴を追加して照合をおこないます。特徴点抽出方式とパターン・マッチング方式とのハイブリット方 式で照合を行うことにより、他人受入率(FAR)0.002%以下、他人拒否率(FRR)2.95%以下と高 性能な指紋識別能力を実現しています。

特徴点抽出方式とは 指紋の切れ目(端点)や分かれ目(分岐 点)などの特徴のある箇所を、相対座標、 方向性、種類などで照合する方式です。

■ 360 度どの向きからのタッチでも指紋照合

従来製品は決まった方向でのタッチが必要でしたが、本製品では向きの制限がありません。ノートパソ コン、デスクトップパソコンの USB ポートの向きとらわれず、タッチしやすい向きで使用できる製品 です。

■ 1秒以内の高速認証

指紋認証を高速化する「Smart Learning」アルゴリズム搭載により、指紋認証をおこなうたびに最良の指紋イメージに更新することで、認証照合の高速化を図っています。



Windows Hello 対応

Windows10のログオン認証機能である【Windows Hello】には、指紋認証機能でのログオンがサポートされました。

SREX-FSU4GはWindows Helloの指紋認証デバイスとして動作します。

Windows の基本機能から指紋登録を行い、Windows Hello で認証を行うことが可能です。

認証ソフトウェアのデファクトスタンダード OmniPassSE8.0 採用

SREX-FSU4G 指紋センサーと OmniPassSE を統合することにより、コンピューター、アプリケーション、Web サイト、その他のパスワードで保護されたリソースへのアクセスを制限する強固なセキュリティ認証システムの実現が可能です。OmniPassSE は下記の機能を提供します。

●指紋認証による Windows ログオン

指紋認証により Windows にログオンします。ユーザー名とパスワードを入力する必要はありません。

スタンバイからの復帰時、パスワード対応スクリーンセーバーロックの解除時も指紋認証によるロ グオンが可能です。

●ファイルの暗号化と共有

ファイルもしくはフォルダーを選ぶだけで指紋認証を使ったファイルの暗号化と復号化を行うこ とができます。個人情報、機密情報のセキュリティ保護を行うことができます。 暗号化したファイルを他のユーザーと共有する機能も提供しています。

●アカウント情報の管理

アカウント情報を要求する Web サイトやアプリケーションのアカウント情報(ユーザー名やパス ワード)を無制限に記憶させることができます。一度 OmniPassSE にアカウント情報を記憶させ ることにより、以後指紋認証を利用してログオンすることが可能になります。複数のアカウント情 報を覚えておくことができ、毎回入力する必要はありません。

●一台のパソコンを複数のユーザーで利用することが可能
 複数ユーザーの指紋を登録し利用することができます。暗号化ファイルの共有設定も可能です。

■ 複数人で使用 OK

1 つのアカウントで最大 10 本までの指紋を登録することができますので、最大で 10 人まで同一アカ ウントの共用が可能です。

また、複数の Windows のアカウントを作成いただくことで複数アカウントでの登録も可能です。

■ 総務省ガイドラインで求められる「二要素認証」に対応

認証条件を指紋認証とパスワード入力の両方必須とすれば、総務省の 情報セキュリティに関するガイドラインでも求められている「二要素 認証」となります。指紋認証ソフトウェア「OmniPass SE」の「認 証規則の設定」でパスワード認証と指紋認証の両方にチェックすると、 パソコンに指紋とパスワードの二要素認証を追加することができま す。



※Windows10、8.1 と OmniPassSE の環境で二要素認証の設定を 行う場合は、ローカルアカウントを使用する必要があります。



■ 自作アプリケーションに組み込みが可能な SDK を無償提供

本製品には、自作開発アプリケーションへ組み込むために必要な SDK を提供。(SREX-SDK4) Visual C++、Visual C#、Visual Basic に対応した API を開発環境にあわせてご使用いただくことで、 自作アプリケーションに【指紋登録・認証】機能を追加し、ユーザーの認証や特定などの機能を追加す ることが可能となります。(SREX-SDK4 は別途お申し込みが必要です。)

■ パッケージの内容

本製品のパッケージには、次のものが同梱されています。不足の場合は、お手数ですが販売店または 弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- 指紋センサー本体
- O USB 延長ケーブル(SREX-FSU4GT にのみ付属)
- O CD-ROM(OmniPassSE 指紋認証ソフトウェア・マニュアル PDF)
- インストールガイド
- 保証書



OmniPassSE8.0 製品仕様

[OmniPassSE 8.xx]

対応 OS	Windows 10/8.1 ※32ビット/64ビット両対応
	Windows Server2019/2016
	※ビルトインアカウントでの指紋登録には未対応
対応ブラウザー	Internet Explorer
	(全てのバージョンでの動作を保証するものではありません)

■ SREX-FSU4G 製品仕様

製品名	USB 指紋認証システムセット・タッチ式		
型番	SREX-FSU4G		
指紋センサー	センサー方式:静電容量式タッチ式センサー		
	センサーエリア:12(W)mmx5(L)mm、密度:363DPI		
	階調:256 色(8bit/pixel)グレースケール		
インターフェイス	USB2.0 Full Speed Compliant		
電源仕様	5V(USB バスパワーから取得)		
消費電流	動作時:10mA(TYP)、待機時:4mA(TYP)、サスペンド時:0.5mA(TYP)		
ESD 耐圧	12 kV (IEC61000-4-2 Level 3)		
保証動作環境	温度:0~40℃ 湿度:20~80%(ただし結露なきこと)		
外形寸法・重量	約14.50(W) × 8.30(L) × 20.56(H) mm (突起部含む)・約5g		
ᅋᅀᄩᇚ	他人受入率(FAR):0.002%以下、本人拒否率(FRR):2.95%以下		
いいのです。	認証速度:1sec.以下(Smart Learning アルゴリズム搭載)		
対応 OS	Windows 10/8.1 ※32ビット/64ビット両対応		
	Windows Server2019/2016		
	※ビルトインアカウントでの指紋登録には未対応		

■ LED について

青点滅	SREX	指紋取得を待っている状態
緑点灯	SREX	認証成功(指紋登録時は正しく指紋が読めたときに点灯)
赤点灯	SREX	認証失敗(指紋登録時は指紋が正しく読み込めないときに点灯)



1-2. 安全にお使い頂くために

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本マニュアルでは、いろいろな表示をしています。これは、本製品を安全に正しくお使いいただき、 あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために目安となるもので す。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、データを失ったり、機密を要するデー タが公開されたり、システムへのアクセスを拒否される等の危険があります。 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の機能が損なわれ、本マニュア ルに記載された手順通りの動作ができなくなる可能性があることを示しています。

ご使用上の注意事項

■接続時のご注意

①1 台のパソコンに同一の指紋センサーを複数接続しないでください。

②USB ハブに接続して使用する場合は、セルフパワー電源タイプ(AC アダプターなどで電源が 供給されるタイプ)のハブに接続し、直列接続は2段以内にしてください。

③他社製の指紋センサーがインストールされている場合は、そのソフトウェアをアンインストール してから本指紋センサーを接続してください。

④指紋認証中に本指紋センサーの取り外しを行わないでください。

■SREX-FSU4G 指紋取得方法について

360 度どの向きからのタッチでも指紋照合可能ですが、指紋センサーの認識率や照合率の精度 を保つために、下図を参考に指を置いてください。

指の腹の部分をセンサー面の中央に押し当て、指紋取得が完了するまで触れてください。



※次の場合は指紋を認識できない場合や、照合率が低下することがあります。

- 指が乾燥している場合
- ・指が汗や水で濡れている場合
- ・皮膚が荒れている場合
- ・泥や油で指が汚れている場合
- ・指紋が薄い場合
- ・センサー面にホコリや汚れや水分がある場合

その他のご注意

A	①指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製
	品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関
	しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
^	②本製品はパソコン用周辺機器として設計されております。人命に関わる用途、または
	高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用
	途で使用される設備、機器、システム等への組み込みは避けてください。
^	③本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
	また、本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一不審な点や誤り
	などお気づきになりましたらご連絡願います。
$\mathbf{\Lambda}$	④本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守およびサポートは行っておりませ
	ho。
	⑤本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
$\mathbf{\Lambda}$	⑥ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くで
<u>_!</u> _	は誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
$\mathbf{\Lambda}$	⑦高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わ
<u>_!</u> _	る場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。
	⑧製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
	⑨無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることは行わないでください。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的 としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用される と、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B



本製品では、Windows10のログオン認証機能である【Windows Hello】、製品 CD-ROM に 収録されている【OmniPassSE】、別途配布の開発用【SREX-SDK4】のうち1つを選択して ご利用可能です。

	Windows Hello	OmniPassSE
対応 OS	Windows10	Windows10/8.1
		Windows Server2019/2016%
		※サーバーPC 上のビルトインアカウント
		での指紋登録には対応していません
機能	Windows ログオン	Windows ログオン
		(指紋認証+パスワード入力の設定が可能
		※Windwos10/8.1 ではローカルアカ
		ウントのみ対応)
		パスワード認証 Web ページ
		ファイル・フォルダーの暗号化

使用する OS や機能により選択してください。

Windows Hello または OmniPassSE のどちらかを使用します。
 (※ 別途配布の SREX-SDK4 とも同時にご利用いただけません)





1-4. 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。お問い合わせの際には、 巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社よ り電話または FAX、電子メールにて回答いたします。

ご質問に対する回答は、下記営業時間内となりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター 〒550-0015 大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 8F TEL 06-7670-5064 月〜金 10:00〜13:00、14:00〜17:00 土曜、日曜および祝日を除く

FAX 06-7670-5066 電子メール:https://web1.ratocsystems.com/mail/support.html

> ホームページで最新の情報をお届けしております。 https://www.ratocsystems.com

> > 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関る業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。



Vindows Hello で使用するためには、下記于順により下ライハーをインストールする必要があります。 ドライバーをインストールするには、インターネットに接続する必要があります。 OmniPassSE はインストールしないでください。

2-1-1.

Windows スタートボタンを右クリッ クし、[デバイスマネージャー]をクリ ックします。

	アプリと機能(F)
	モビリティ センター(B)
	電源オプション(O)
	イベント ビューアー(V)
	システム(Y)
	デバイス マネージャー(M)
	ネットワーク接続(W)
	ディスクの管理(K)
	コンピューターの管理(G)
	Windows PowerShell(I)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスク マネージャー(T)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスク マネージャー(T) 設定(N)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスク マネージャー(T) 設定(N) エクスプローラー(E)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスク マネージャー(T) 設定(N) エクスプローラー(E) 検索(S)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスクマネージャー(T) 設定(N) エクスプローラー(E) 検索(S) ファイル名を指定して実行(R)
	Windows PowerShell(I) Windows PowerShell (管理者)(A) タスク マネージャー(T) 設定(N) エクスプローラー(E) 検索(S) ファイル名を指定して実行(R) シャットダウンまたはサインアウト(U)
スタート	Windows PowerShell(i) Windows PowerShell (管理者)(A) タスクマネージャー(T) 設定(N) エクスプローラー(E) 検索(S) ファイル名を指定して実行(R) シャットダウンまたはサインアウト(U) デスクトップ(D)

2-1-2.

下図のように「AuthenTrend Touch Fingerprint Sensor」と正常に認識している場合は、「2-2. 指紋登録と認証」へ進んでください。



「"!" EgisTec Touch Fingerprint Sensor」と正常に認識していない場合は、右クリックしプロパティを開きます。



2-1-3.

「ドライバーの更新」をクリックしま す。

EgisTec To	uch Fingerprint Sei	nsorのプロパティ	×
全般	ドライバー 詳細	イベント	
2	EgisTec Touch F	ingerprint Sensor	
	デバイスの種類:	ほかのデバイス	
	製造元:	不明	
	場所:	Port_#0003.Hub_#0001	
デバイン	スの状態		
この	デバイスのドライバーが	インストールされていません。(コード 28) ^	
20:	デバイスと互換性のあ	るドライバーがありません。 	
この: さい。	デバイス用のドライバー ,	を検索するには、 [ドライバーの更新] をクリックしてくだ 〜	
ドライバーの更新(<u>U</u>)			
		OK キャンセル	6

2-1-4.

<u>インターネットに接続できることを確</u> 認し、「ドライバーソフトウェアの最新 版を自動検索します」をクリックしま す。



2-1-5.

以上で Windows Hello 用のドライバ ーインストールは完了です。



2-1-6.

し、

デバイスマネージャー上で 「AuthenTrend Touch Fingerprint Sensor」と認識していることを確認

「2.2 指紋登録と認証」へ進みます。





Windows Helloの指紋認証を使用する場合、Windowsパスワードと暗証番号(PIN)の設定も必要です。

2-2-1.

Windows スタートメニューの[設定] をクリックします。



2-2-2.

[アカウント]をクリックします。



2-2-3.

[サインイン オプション]を選択し、 [パスワード] [暗証番号(PIN)]の設定 後に

[Windows Hello]の「セットアップ」 をクリックします。



2-2-4.

「開始する」をクリックします。

 Windows Hello セットアップ
 ×

 Windows Hello へようこそ
 デバイスを自分専用に設定しましょう。複雑なパスワードを入力しなくて も、Windows Hello を使えば、指紋認証によってデバイスのロックを解 除したり、本人確認を行ったり、ストアで買い物をしたりできます。

 詳細情報

 開始する
 キャンセル

2-2-5.

設定した暗証番号(PIN)を入力します。

Windows ユーザー	^{セキュリティ} -を確認しています		×
ų.	PIN PIN を忘れた場合		
		キャンセル	

2-2-6.

画面の指示にしたがい、指紋の登録を 行います。



センサーにタッチする毎にセンサー LED が青点滅であることを確認して からタッチしてください。

Windows Hello セットアップ	×
指紋センサーにタッチ	
セットアップが完了するまで、指をセンサーに当てて離す動作を繰り返 てください。	L
キャンセル	

2-2-7.

以上で指紋登録は完了です。 別の指紋を登録する場合は「別の指を 追加」をクリックし追加で登録を行い ます。



2-2-8.

Windows ログオン時に登録した指紋 をスキャンすることで、自動的にログ オンすることができます。







OmniPassSE ユーザー登録では Windows ログオン時のユーザー名とパスワードが必要になります。 OmniPassSE ユーザー登録を行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。 SREX-FSU4G センサー以外のセンサーはご利用いただけません。

3-1-1.

Windows スタートメニューの[設定] をクリックします。



3-1-2.

[アカウント]をクリックします。



3-1-3.

[サインイン オプション]を選択し、 [パスワード]の「追加」をクリックし ます。





OmniPassSE のインストール・アンインストールについて説明します。 本製品を USB ポートに接続して OmniPassSE のインストールを行ってください。 OmniPassSE をインストールすることで本製品のドライバーも自動的にインストールされます。

■OmniPassSE のインストール

3-2-1.

製品付属 CD-ROM の OmniPass フォルダー内にある下記フォルダーに収録されているセット アッププログラム「SETUP.EXE」を起動します。 [OmniPass¥OP_x32] \Rightarrow 32 ビット版 OS 用 [OmniPass¥OP_x64] \Rightarrow 64 ビット版 OS 用

ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は、「はい」をクリックします。

ユーザ- アカウンド制度 × このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します か?	
Setup Launcher Unicode	
確認済みの発行元: Softex Incorporated ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ	
詳細を表示	
はい いいえ	

OmniPassSE をインストールするユーザー はシステムに対して管理者権限を持ってい る必要があります。

3-2-2.

「OmniPass セットアップへようこ そ」の画面で「次へ(<u>N</u>)」をクリックし ます。



3-2-3.

使用許諾書の内容をご確認頂き、同意 をいただいた上で「はい(Y)」をクリッ クします。



3-2-4.

インストール先の選択を行います。「次 へ(<u>N</u>)」をクリックします。

ノートディレクトリ(例えば、C:¥) にインストールしないでください。 OmniPassSE をインストールしたデ ィレクトリの下層でファイルやフォル ダーの暗号化はできません。



3-2-5.

「はい、今すぐコンピューターを再起 動します。」を選択し、「完了」をクリ ックします。



3-2-6.

再起動後、タスクバーに鍵マークの OmniPassSE コントロールセンター のアイコンが表示されます。

「3-3. OmniPassSE ユーザー登録」 にある OmniPassSE 登録画面が自動 的に表示されますので、登録を行いま す。



■OmniPassSEのアンインストール



OmniPassSE のアンインストールを行うと、OmniPassSE で暗号化されたファイルは 復号化することができなくなります。また、保存されたパスワードと情報は全て失われます。 アンインストールを行う前に、必ず以下の操作を行ってください。 (1) 全ての OmniPassSE 暗号化ファイルを復号化する。

- (2) OmniPassSE のユーザープロファイルをバックアップする。
- (3) 記憶させた Web およびアプリのアカウント・パスワード情報のメモを取っておく。

3-2-7.

Windows スタートメニューより [Windows システムツール]-[コントロ ールパネル]を起動し「プログラムと機 能」を開きます。



3-2-8.

インストールされたプログラムの一覧 より「OmniPass」を選択し、「アンイ ンストール」をクリックします。



3-2-9.

アンインストール時の警告内容をご確 認頂き、アンインストールする場合は 「次へ(<u>N</u>)」をクリックします。

 OmniPass - InstallShield Wizard
 ×

 OmniPass のアンインストール
 ●

 OmniPass のアンインストール
 ●

 OmniPass アンインストール
 ●

 Image: Software in the state in the

3-2-10.

アンインストールの最後の確認です。実行する場合は「はい(Y)」をクリックします。



3-2-11.

アンインストールは完了です。 「はい、今すぐコンピューターを再起動 します。」を選択して、「完了」をクリッ クします。

以上の操作でアンインストール作業は 完了です。





OmniPassSE ユーザー登録では Windows ログオン時のユーザー名とパスワードが必要になります。 登録を行う前に、必ず Windows のログオンパスワードを作成してください。

■OmniPassSE ユーザー登録

3-3-1.

OmniPass 登録ウィザードから、「開 始」ボタンをクリックします。



Windows Server2019/2016 では ビルトインアカウントでの指紋登録には 対応していません。

Windows 8.1 では登録するユーザー でWindowsヘログオンしてください。



3-3-2.

[ユーザ名][ドメイン/コンピュータ 名][パスワード]を入力して、「次へ」をク リックします。



企業環境などで、ドメインヘログオンし ている場合は[ドメイン/コンピュータ名] は、Windowsのコンピューター名ではあ りません。システム管理者にお問い合わせ ください。

🌀 🦻 হ-#&১/	「スワードの確認		×
	OmniPassアカウント用に 確認後、OmniPassは同じ イルの管理などの安全なの ユーザ名: ドメインノゴンゼュータ名: パスワード: コーザブロファイルの	使用するWindowsアカウント情報を入力してく アカウント証明書を使用して、パスワードや暗 mniPass概能を発揮します。 test DELL-VISTA (ローカルマシン) ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ださい。 号化ファ
ציורי 📀			次へ

3-3-3.

認証で使用する指をイラスト上で選択し、 「次へ」をクリックします。



指の選択画面には「練習」ボタンがあり ます。クリックすると、指紋のキャプチャ を練習できます。



3 - 3 - 4.

指紋の読み取りを開始します。画面の表示 に従って指紋の読み取りを行います。 指紋の読み取りは約 12 回行う必要があ ります。

読み取りが正常に行われた場合は、指紋 画像とセンサーLED が緑色で表示され、 失敗した場合は、指紋画像とセンサー LED が赤色で表示されます。

センサーにタッチする毎(指紋読取毎) にセンサーLED が青点滅であることを確 認してからタッチしてください。

読み取った指紋との確認のため、同じ指 で指紋認証を行います。「選択した指が OmniPass に登録されました。」と表示さ れましたら、「次へ」をクリックします。

登録に失敗した場合は、画面左上の「← (戻る)」をクリックし、再登録を行います。



登録指紋確認のための画面が表示され るまで数秒時間が掛かりますので、センサ ーLED が青点滅であることを確認してか ら指紋認証を行なってください。





3-3-5.

「もう 1 本の指を登録することを推奨します。今すぐ追加で登録しますか?」というメッセージが表示されますので、他の指も登録する場合は「はい(Y)」をクリックします。

手順3-3-3の操作に戻り、異なる指で登録操作を繰り返します。

(登録済みの指を選択した場合)

登録済みの指紋情報を削除するか、 上書き登録を行うかを選択することがで きます。

画面左上の「←(戻る)」をクリックすると 登録指を選択する画面に戻ります。





3-3-6.

サウンドプロンプトの設定、タスクバーヒ ントの設定および認証ウィンドウの設定 を行います。設定内容を確認して、「次へ」 をクリックします。





3-3-7.

作成したユーザープロファイルのバック アップファイルを保存します。「今すぐバ ックアップ」をクリックします。



バックアップファイルのパスワードを入 カし、保存先を指定後に「OK」ボタンを クリックします。

			() + /□=#→	2+60/070 II	
ユーサーフロ を設定して〈i	ファイルのハッ どさい。	ロドッフファ	1ルを1未護す	ったののバスワード	
注: プロファイ 安全な場所() は、このパスワ	ルのバックア: :保管してお ードが必要(ップファイルと いてください。 こなります。	、ここで設定 プロファイル	するパスワードを を復元する際に	
C:¥Users¥y	ama¥Docum	ients¥*.opi			
パスワード:	ſ				1
パスワードの	確認: [J
		OK	:		
					_
ユーザーブロファイ	ルのバックアッ	フを名削を付け	けて保存		_
保存する場所の	ニー デフカレップ				
保存する場所(1): (注:	1 デスクトップ 名前	サイズ	種類	_ ← 圖 ➡ 目	
保存する場所(): 最近表示した場所	 デスクトップ 名前 test 	サイズ	種類	・ ・ ・	
(保存する場所()): 最近表示した場所 デスクトップ	 デスクトップ 名前 します たest します 	サイズ	種類		
(保存する場所()) 最近表示した場所 デスクトップ したす Lest コンピュータ	■ デスクトップ 名前 した した こと ここ ここ ここ ファ	サイズ ・ ビュータ encryption ・ イルフォルダ	種類	・ 中 回 合 目 更新日時 パブリック ポットワーク FSU2_pic アイル フォルセ	

MyProfi

ファイル名(<u>N</u>):

ファイルの種類(T)

(呆存(<u>S</u>)

•

3-3-8.

以上で OmniPassSE のユーザー登録 作業は終了です。

「完了」ボタンをクリックします。



Windows を再起動すると、従来の Windows のログオンでは表示されなかった OmniPassSE 認証 ダイアログが表示されます。これは、OmniPassSE 認証システムが呼び出されると常に表示されます。 OmniPassSE 認証システムは、以下の場合に呼び出されます。

- (1) Windows のログオン時
- (2) OmniPassSE のログオン時
- (3) ワークステーションのロック解除時
- (4) スリープまたは休止状態からの復帰時(OmniPassSEとは別に設定が必要です)
- (5) パスワード対応のスクリーンセーバーのロック解除時
- (6) パスワード等をOmniPassSE に記憶したサイトを開いた時
- (7) ファイルまたはフォルダーの暗号化・復号化実行時



OmniPassSE 認証ダイアログの プルダ ウンボタンをクリックすると、各指紋センサ ーと「マスターパスワードの認証」の選択バ ーが表示されます。

右図で各認証方法をクリックすると、選択した認証画面が表示されます。





OmniPassSE アカウント情報の記憶を行うことにより、アカウント入力(ユーザ ID、パスワード) が必要な Web サイトに指紋認証により自動的にログオンすることができます。何種類ものパスワード を覚えておく必要はありません。

OmniPassSE8.xx が対応しているブラウザーは Microsoft Internet Explorer です。 全てのバージョンでの動作を保証しているわけではございません。

■Web ログオンパスワードの記憶

4-1-1.

アカウント入力を要求する Web サイトが開かれると、OmniPassSE はアカウント入力が要求されたことを自動検出し、「パスワードを検出しました。」というメッセージを表示します。



4 - 1 - 2.

アカウント情報(右の Web サイトでは、ユ ーザーのメールアドレスとパスワード)を入 力した状態にします。

アカウント情報(ユーザーID、メールアドレス、パスワード等)にかな漢字コードを使用できない場合があります。



4-1-3.

タスクバーの OmniPassSE コントロールセ ンターを右クリックし、右クリックメニュー より「パスワードの記憶(R)」を選択します。



4 - 1 - 4.

「パスワードの記憶中」が表示された状態 で、OmniPassSE キー(右図の鍵マーク) をログオンプロンプト(アカウント入力ダイ アログ)の近くにドラッグします。



4-1-5.

OmniPassSE がアカウント情報を記憶 すると、「覚えやすい名前」のダイアロ グが表示されます。「覚えやすい名前」 を編集入力し、「完了(<u>O</u>)」ボタンをクリ ックします。

OmniPassSE に記憶させたアカウント 情報は「パスワードの管理」に保管され ています。

「Advanced」をクリックするとパスワ ードの入力方法を設定することができ ます。

OmniPass - 見えやりい名削
OmniPasal こ記憶するよう指示したパスワードボックスを識別するための「覚えやすい名前」を入力します。「 覚えやすい名前」とは、例えば「個人的なクレジットカードのパスワード」のようなものです。 この『覚えやすい名前』は、OmniPasaが自動的にコイスワードを入力できない場合に、対象のパスワードボックス を識別するために使用されます。
覚えやすい名前: Googleアカウント - Windows Internet Explorer 🛛 🔍
- このパスワード ボックスの設定
□ このバスワード保護されたダイアログが表示されたときに自動的にパスワードを入力します。認 □ 証ブロンプトは表示されません。
□ ユーザーの認証後、このパスワード保護されたダイアログの [0K] または [送信] ボタンを自動的 レクリックします。

すでに OmniPassSE に記憶させた Web サイトに対して「パスワードの記憶」を再実行する と、OmniPassSE は現在記憶している Web サイトのアカウント情報(ユーザーID やパスワー ド)を上書き更新します。

例えば、アカウントページのパスワードをXXXXXXで、すでにOmniPassSEに記憶させて いたとします。ところが、ある日、新しいパスワード:YYYYYYへの更新案内が送られてきて、 今後は新しいパスワード:YYYYYY でログオンしなければいけなくなったと仮定します。その 場合、アカウントページにアクセスして、OmniPassSE にログオンさせる代わりに新しいパス ワード:YYYYYY を入力します。その後「ログオン」をクリックしないで、パスワードの記憶 を使用してカーソルをOmniPassSEキーに変え、ログオンプロンプトの近傍をクリックします。 OmniPassSE は確認を要求し、続いてアカウント情報を上書きします。上記の操作により、 OmniPassSE に記憶させたユーザーID は同じですが、パスワードはXXXXXX から YYYYYY へ更新されます。

■アプリケーションログオンパスワードの記憶

OmniPassSE はアカウント入力を必要とするホームページ以外に、「パスワードセットアップウィ ザード」の機能を使って、アカウント入力を必要とする Windows プログラムのアカウント情報も記 憶することができます。

4-1-6.

OmniPassSE コントロールセンター を起動し、[<u>アクション</u>]メニューよ り、「パスワードウィザード」を選択 します。



4-1-7.

Windows プログラムのアカウント 情報入力画面を「パスワードセットア ップウィザード」の近くに表示させて から、

「OmniPass にパスワードを記憶さ せるダイアログボックスを呼び出し てください。・・・」をチェックし、 「次へ(<u>N</u>)」をクリックします。

🔒 パスワート	「記憶サンプル	アプリケー 💌		
企業コード			Windows プログラ	厶例
ユーザ名				
パスワード				
		コヴイン		
パスワードセット	アップウィザード			×
		OmniPassパスワードセットアップ 使用するには、パスワードを記憶 面の隣に他のダイアログと重など	ゲィザードにようこそ! このウィザードを きさせたいダイアログを、このウィザード画 ふないように表示してください。	
		OmniPassにパスワードを記 ▼ ださい。準備ができたら、この クリックしてください。	!憶させるダイアログボックスを呼び出してく Dチェックボックスをクリックしてから、し次へ]を	
		< 戻る(<u>B</u>)	※へ(N)> キャンセル	~JIJ

4-1-8.

パスワードセットアップウィザード の「テキスト」欄に適切なアカウント データを入力し、「このキーをドラッ グ」をドラッグし、 Windows プロ グラムの該当入力欄の上へドロップ します。 右 Windows プログラムの 例では、最初に企業コードのフィール ド設定を行っています。

企業コード 4 ユーザ名 パスワード ログイン х パスワードセットアップウィザード ステップ1.フィールド値のセットアップ ウィザードの最初のステップは、OmniPassに記憶させたいダイアログのフィールドに記入する値をセットアップすることです。 このショナリンションロームは、構に、入力すべきパスワードなどの文字列を記入します。次に、右にあるOmniPassキーア イコンを実際に入力したいダイアログボックストのフィールドきでドラッグし、フィールドを指定します。OmniPassに記憶さ サたいすべてのフィールドに対して、このチールドきの「アメリン」の生まれ、この 注:キーアイコンをドラッグすると、マウスカーソルの下にあるフィールドが珪調表示されます。場合によっては、選択しようとしているフィー ルドが垂調表示されないこともあります。正しく蓮調表示されていない場合でも、選択したいフィールドの上で「ウスのボタンを難しま テキスト: NKC01503 5 テキストのマスク 上級者モード をドラ < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

船 パスワード記憶サンプルアプリケー... 🔜

Windows プログラムの入力欄へ直接入力しないでください。

4-1-9.

ーつのフィールドの設定が終了する と右確認メッセージが表示されます。 引き続きフィールド入力を行う場合 は「はい(Y)」をクリックします。 右の例では、企業コードの次に「ユー ザ名」と「パスワード」の設定が必要 です。

全ての入力が完了したら、「いいえ (<u>N</u>)」をクリックします。

4-1-10.

Windows プログラムの名前を「覚え やすい名前」に入力し、「次へ(<u>N</u>)」 をクリックします。



、テッフ2、夏スや9	い いる BioUCウトアウノ
ウィザードの第20	Dステップは、OmniPassに記憶させるWebサイトまたはアプリケーションダイアログを区別する"覚えやすい"
名前を付けること	こです。
(2) Omni	Passのコントロールセンターでこの設定を参照するときや、ユーザー認証を行うときに区別し
গেৰ	V名前を指定してください。
覚えやすい名前:	パスワード記憶サンプルアプリケーション
□ (ダイアログが表	示されたときに、ユーザー認証なしで自動的にパスワードを入力します。
このダイアログ	を撮影けるために、ダイアログのタイトルバーの文字列のみを使用します。日時の情
回報が含まれる	など、パスワードダイアログを開くたびに変更されるフィールドがある場合このオプション
を適用します。	>
□ 連続して認証	を行う場合、次の認証の前にいったんウィンドウを閉じて開きなおす必要があります。

4-1-11.

Windows プログラムで最後に操作 するボタンを指定します。「このアイ コンをドラッグ」をドラッグし、 操 作するボタンの上へドロップします。 OmniPassSE への記憶操作は以上 で終了です。

「次へ(<u>N</u>)」をクリックします。

🔠 パスワー	ド記憶サンプルアプリケー
企業コード	NKC01503
ユーザ名	ラトックシステム
パスワード	*****
8	
	Ŭ
パスワードセットア	ップウィザード
ステップ3. OK/症 ウィザードの第 [OK]などの赤	送信 ポタンのセットアップ 300ステンプは、対象ダイアログの全てのフィールドヘテキストを入力した後、OmniF 95 名称正することです。
<u>م</u> تە	ステップでは、ダイアログのパスワードフィールドに入力した1後にOmniPassが頂収るべ来未なシアクシッ
3 57	設定してください。
	マスワードフィールドに必要事項を入力した後、OK、迭信、その他のユーサー定義末ダンを自動的にグリックします。
パスワードフィ・ るボタンの上ま 出できない、ま キーボードの旧 ォルトのボタング	ールドに必要事項を入力した後にOmniPassに自動的にクリックさせ で、右のボダンアイローをドラッグしてください。OmniPassがボタンを検 ただれなった者提供しような動作を行います。j箇体は、ダイアログのデフ このアイコンをドラッグすた
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル へルプ

4-1-12.

「パスワードダイアログをテストし ます」をクリックします。



4-1-13.

テスト結果に問題がなければ、 「はい(<u>Y</u>)」をクリックします。



4-1-14.

最後に「完了」をクリックします。



4-1-15.

手順 4-1-12 で「パスワードスクリ プトを手動で編集します」をクリック すると、右スクリプト編集画面が表示 されます。編集が必要な場合は、ここ で編集することができます。

パスワードスクリプトエディタ	x
このダイアログを使用して、パスワードの入力時に実行されるスクリプトを す。スクリプトエディタでは、構文のチェックは行われないことにご注意くだ	き手動で編集しま さい。
編集するフィールドを選択:	
<名前のないフィールド> #1> <名前のないフィールド> #2> <名前のないフィールド> #3> <名前のないフィールド> #4>	上に移動
<ここをクリックして、新しいフィールドエントリを追加します>	下に移動
エントリの肖『除	
フィールドスクリプト:	
<dcc>2,680,750<fv><sv><¥FV></sv></fv></dcc>	
フィールド値:	
NKC01503	
<u> </u>	

次回より、Windows プログラムのアカウ ント入力が表示されると、OmniPassSE 指 紋認証ダイアログが表示されます。アカウン ト情報を入力する代わりに、OmniPassSE の指紋認証だけでログオンすることができ ます。



ー人の人が同一のWebサイトで複数のアカウントを取得している場合についても、OmniPassSEにアカウント情報を記憶させてOmniPassSE指紋認証機能を使用することができます。複数のアカウントを管理する場合は、一人のユーザーに対して複数のIDを作成し、それぞれのIDに一つのアカウント情報を設定します。

4-1-16.

OmniPassSE コントロールセンター を起動し、「パスワードの管理」を選択 し、「IDの管理」をクリックします。





4-1-17.

「ユーザー名に対する新規ID」を入力 し、「OK(<u>O</u>)」をクリックします。 前項の画面で「変更をすべて保存」を クリックして設定は完了です。

OmniPass — 新規ID名の入力	×
新たに作成するID名を入力してください。	
新規にIDを追加するユーザー名: yama	
yama-2	
OK(0) キャンセル(0)	

4-1-18.

同一の Web サイトで複数のアカウン ト情報を記憶させる場合は、「ログオン パスワードの記憶」を行う前に「ユー ザーID の切り替え(S)」を行い、ユー ザーIDごとに一つのアカウントを記憶 させます。

ユーザーID の変更は、タスクバーの 「OmniPassSE コントロールセンタ ー」を右クリックし、「ユーザーID の 切り替え(S)」を選択します。

	開く(O)
	ユーザーのログオン(L)
	ユーザーのログアウト(C)
	ユーザーIDの切り替え(S)
	パスワードの記憶(R)
	ヘルプ(H)
	バージョン情報(A)
	終了
× .	
	へ む 臣 (か) 専 😵 14:16 2016/02/09

4-1-19.

「ID の切り替え」ダイアログより、変更したい ID を選択します。ID 変更後、 Web ログオンパスワードの記憶を実行します。

IDの切り替え		-X -
ユーザー名:	yama	OK(<u>O</u>)
ドメイン: パスワード:	YAMA-PC	
ID:	yama-2	
	yama yama-2	

4-1-20.

各ユーザーID の「パスワード管理」は、 OmniPassSE コントロールセンター の[パスワードの管理]-[ボールトの管 理]のページより行うことができます。 画面上の「ID」を切り替えることによ り、ID ごとに記憶されたパスワード情 報等が表示されます。





OmniPassSE はフォルダー単位・ファイル単位での暗号化と復号化を行うことができます。 また、OmniPassSE 暗号化ファイルは複数の OmniPassSE 登録ユーザーと共有することができます。

■暗号化

4-2-1.

OmniPassSE コントロールセンターを 起動し、「ファイルの保護」を選択しま す。

暗号化を行うフォルダーもしくはファ イルを選択し、「暗号化」をクリックし ます。

※ 64 ビット版OSでは OmniPassSE コントロールセンターにこの機能は ありません。暗号化する場合は本項 目の手順 4-2-6 をご参照ください。



"C:¥Windows" に格納された Windows のシステムファイル、"C:¥Program Files"に インストールされたプログラム、OmniPassSE がインストールされているフォルダーは、 暗号化するこができません。

4-2-2.

暗号化のための認証を行います。



4-2-3.

暗号化を行うための認証が完了すると 警告メッセージが表示されます。内容を 確認して「OK」をクリックします。

4-2-4

暗号化が行われます。



 マテイルを暗号化 ロティー・ ロティー・	していま	र ्ग	x ++>セル
ファイル/名 DSC00336.JPG opf DSC00336.JPG DSC00363.JPG DSC00394.JPG	状態 成功 成功 暗号化	ファイルの場所 C.¥Users¥sakamoto¥Desktop¥TestData¥ C.¥Users¥sakamoto¥Desktop¥TestData¥ C.¥Users¥sakamoto¥Desktop¥TestData¥ C.¥Users¥sakamoto¥Desktop¥TestData¥	¢ ¢ ¢

4-2-5.

暗号化を行ったフォルダーもしくはフ ァイルは鍵の付いた新しいアイコンで 表示されます。ファイルの拡張子は 「.opf」、フォルダーの拡張子は「.opef」 に変換されます。

Before	After
test.txt	test.txt.opf

4-2-6.

暗号化の操作は Windows Explorer か ら行うこともできます。マウスの右クリ ックでコンテクスチュアルメニューを 表示し、「OmniPassSE ファイルの暗号 化」を選択すると上記と同じ暗号化の操 作を行うことができます。





4 - 2 - 7.

OmniPassSE コントロールセンターを 起動し、「ファイルの保護」のページを 選択します。

復号化を行いたいフォルダーもしくは ファイルを選択し、「復号化」をクリッ クします。

マウスの右クリックでコンテクスチュ アルメニューを表示し、「OmniPassSE ファイルの復号化」を選択して、復号化 の操作を行うこともできます。

※ 64 ビット版OSでは OmniPassSE コントロールセンターにこの機能はあ りません。復号化する場合は右クリッ クより行ってください。



4 - 2 - 8

4 - 2 - 9

われます。

test.txt.opf

復号化のための認証を行います。



暗号化ファイルを編集し、フォルダーを閉じると暗号化された状態になります。

暗号化ファイルの場合、ダブルクリックで開くと復号化されます。

■暗号化ファイルの共有

4-2-10.

Windows Explorer からマウスの右ク リックでメニューを表示し、 「OmniPassSE 暗号化ファイルの共 有」を選択します。



4-2-11.

暗号化ファイル共有のための認証を行 います。



4-2-12.

暗号化ファイルの共有を行いたい OmniPassSE に登録されたユーザー名 を入力し、「ユーザーの追加」のボタン をクリックします。

🥵 ユーザーの	
OmniPassは、暗 オルダを表示、値	号化ファイルを他のOmniPassユーザーと共有できるようにします。選択したファイルまたはフ 変正、および削除できるようにしたいユーザーを選択してください。
チェック:	SAKAMOTO-PC (ローカルマシン) ・ ユーザーの追加
ユーザー名:	
す。	、「塩朳しにファイルまた」はフオルタを表示、「修正、およし相PP床する権限を与えられていま
SAKAMOTO-P	C\sakamoto
	ユーザーの削除 OK

4-2-13.

下部の一覧に共有化を許可するユーザ ーが追加されます。

👷 ユーザーの選択
OmniPasalは、暗号化ファイルを他のOmniPasaユーザーと共有できるようにします。選択したファイルまたはフォルダを表示、修正、およて預算をできるようこしたいユーザーを選択してください。
チェック: SAKAMOTO-PC (ローカルマシン) ▼ ユーザーの追加
、 クーーザーは、 選択したファイルまたはフォルダを表示、 修正、 および削除する権限を与えられています。
SAKAMOTO-PC\sakamoto SAKAMOTO-PC\suzuki
ユーザーの削除 OK





OmniPassSE ユーザーの追加ではユーザー名とパスワードが必要になります。ユーザーの追加を行う 場合は、先に追加するユーザーの Windows ログオンパスワードを作成してください。

■ユーザーの追加

5-1-1.

タスクバーに格納された鍵マーク (OmniPassSEコントロールセンター) をダブルクリックします。



5-1-2.

「ユーザー管理ウィザードの実行」を選択 します。



5-1-3.

次に「新規ユーザを OmniPass に追加」 を選択します。

以降の操作は、「3-3.0mniPassSE ユーザ ー登録」で説明されている手順 3-3-2か らに従ってユーザー登録を行います。



■ユーザーの削除

ユーザーを削除すると、そのユーザーに関連付けられた OmniPassSE データは自動的に破棄 されます。また、そのユーザーが暗号化したファイルは復号化できなくなります。
削除を行う前に、必ず以下の操作を行ってください。
(1) OmniPassSE ユーザープロファイルのバックアップを行う。
(2) 全ての OmniPassSE 暗号化ファイル・フォルダーを復号化する。
(3) 記憶させた Web およびアプリのアカウント・パスワード情報のメモを取っておく。

5-1-4.

除」をクリックします。

OmniPassSE コントロールセンターを 起動し、「登録ウィザードの実行」を選択 します。 右画面より「OmniPass からユーザを削



5-1-5.

0

削除を行うユーザーの指紋認証を行いま す。



5-1-6.

削除されるユーザー名と警告の内容を確認して、事前に適切な処置を行った後、問題がなければ「OK(<u>O</u>)」をクリックします。

OmniPass -	ユーザー削除の確認
1	警告本当にユーザーを削除してもよいですか? ユーザー名: suzuki ユーザーを削除すると、 1.そのユーザーがOmniPassで暗号化したファイルを参照/復号化するための逮情報を完全に 削除します。 2.そのユーザーが記憶したパスワードリスト及びその他の情報を全て削除します。
	ユーザーを削除する場合は、 1.削除前に、このユーザーがOmniPassで暗音化したファイルを全て損号化してください。 2.ユーザーブロファイルをバックアップしておくことを強くお勧めします。
	OK(Q) (キャンセルロ)
OmniP ユーザー	Pass し は正常に削除されました。

削除完了確認画面が表示されます。 「OK」ボタンをクリックします。



「ログオンパスワードの記憶」で OmniPassSE に記憶させたパスワード情報をパスワードの管理で参照することができます。万が一、パスワードを忘れた場合にも確認できます。

5-2-1.

OmniPassSE コントロールセンター を起動し、「パスワードの管理」を選択 します。



5-2-2.

「パスワードの管理」を開くためには、 右の認証作業を行います。



5-2-3.

「ボールトの管理」頁が開きます。 「パスワード保護されたダイアログ」 に OmniPassSE が記憶した Web サ イトおよび Windows プログラムの名 前が表示されます。「ユーザ名とパスワ ード」に各サイトのアカウント情報が 表示されます。「値のマスク解除」をク リックしてパスワードの内容を確認で きます。

また、「ページの削除」をクリックして、 記憶した情報を削除することができます。

アクション		
現在のユーザのログアウト	4 M	
メニリービのののあた。 パスワードウィザード…	ID:	
)情報	sakamoto (既定值)	IDの管理
ヘルプ		
つっげ住船		7-1-
<u>ユーン旧理</u> 現在のコッザ・	Google アカウンド - Windows Internet NRC01503 パスワード記憶サンプルアプリケー ラトックシステム	
sakamoto	123456789	
F አብን።		
SAKAMOTO-PC	ページの首席 (値)	のママク
バージョン詳細		
バージョン:	■ 事前に登録したWebページを表示したときに、認証 動的にパスワードを入力します。	操作は行わずに自
		70-887708
ビルド番号:	◎ ユーリ認証が正常にのこれがいると、違いしたが、 の [OK]または [送信] ボタンが自動的にクリックし	<リードタイプロジ ます。
	11.0 - Zung	

OmniPassSEによる記憶されたサイトの処理方法には、下記の3つの設定があります。

(1)「事前に登録した Web ページを表示したときに、認証操作は行わずに自動的にパスワード を入力します。」

(2)「ユーザー認証が正常におこなわれると、選択したパスワードダイアログの「OK」または 「送信」ボタンを自動的にクリックします。」

(3) 上記のいずれにもチェックを入れない設定。

4-1.アカウント情報の記憶の手順4で設定した内容が表示されます。

(1)の設定は、あまり安全ではありません。(1)の設定を有効にすると、このサイトに移動するたびに、OmniPassSEは認証を要求せずにサイトに自動的にログインします。

(2)の設定にすると、OmniPassSE に記憶されたサイトを開くたびに、ユーザー認証が要求 されます。認証に成功すると、このサイトに自動的にログインします。

(3)の設定にすると、OmniPassSE に記憶されたサイトを開くたびに、ユーザー認証を要求 します。認証に成功すると、サイトの入力位置へアカウント情報(ユーザ ID やパスワード)は 自動的に記入されますが、サイトにログインするためには、Web サイトの OK、送信、または ログインボタンをクリックする必要があります。



ユーザープロファイルのバックアップにより、OmniPassSE に記憶させたサイトのアカウント情報をバッ クアップすることができます。OmniPassSE のアンインストールを行う前に、必ずユーザープロファイル のバックアップを行ってください。

職場のパソコンで暗号化したファイルを自宅のパソコンに持ち帰って復号化したいというような場合、 暗号化を行ったパソコンでバックアップしたユーザープロファイルを復号化したいパソコンに復元します。

■ユーザープロファイルのバックアップ

5-3-1.

OmniPassSEコントロールセンターを 起動し、「ユーザー管理ウィザードの実 行」を選択します。 右画面より「ユーザの OmniPass プロ

コーロースジャーユーアのOnnim ass クロ ファイルのバックアップ」をクリックし ます。



5-3-2.

バックアップのための認証を行います。



5-3-3.

バックアップファイルの保存先を選択 しパスワードを設定します。

このパスワードは復元の際に使用しますので、必ず他の場所に記録しておくようにします。

バックアップファイル	のパスワード	×
ユーザーブロファイルの/ を設定してください。	ミックアップファイルを保護するためのパスワ	− κ̈
注: プロファイルのバック) 安全な場所に保管してる は、このパスワードが必要	アップファイルと、ここで設定するパスワード わいてください。プロファイルを復元する際に 駅になります。	を こ
C:¥Users¥yama¥Docu	ıments¥*.opi	
パスワード:		
パスワードの確認:		
	OK	

5-3-4.

バックアップファイルの名前と保存先 を指定します。

ユーザプロファイルの	のバックアップを名前	前を付けて保存	F		×
(保存する場所(1):	📃 デスクトップ			- + 🖿 🖬	•
Ca.	名前		サイズ	種類	更新日時
最近表示した場所	sakamoto				
	퉲 パブリック				
デスクトップ	■コンピュータ				
1	♀ ネットワーク			o	2007/02/46 45 55
	ымургопіе.opi		4 KB	OmniPass Import	2007/02/16 15:55
sakamoto	Suzuki.opi		4 KB	OmniPass Import	2007/02/19 19:13
コンピュータ					
<u>.</u>					
ネットワーク	•		III		•
	ファイル名(N):	suzuki		-	(保存(S)
	ファイルの種業(T):	OmniPass 7	-ザプロファイル (*c		キャンセル
		Jennin geoT	>>=>>		

5-3-5.

「プロファイルのバックアップ成功」の メッセージが表示されます。「OK」を クリックします。 保存した場所に「xxx.opi」ファイルが 作成されます。





■ユーザープロファイルの復元

5-3-6.

OmniPassSE コントロールセンターを 起動し、「登録ウィザードの実行」を選 択します。

右画面より「ユーザの OmniPass プロ ファイルの復元」をクリックします。

(・) 同じ名前のユーザーが既に登録されて いる場合、プロファイルを復元すること はできません。

🛛 🦻 登録ウィザードメニ	la~	— X —
	登録ウィザードを使って実行する機能を選択してくたむい。 ほとんどの が正常に実行されたときに登録ウィザードが自動的に終了します。	幾能では、タスク
ANF.	🚑 新規ユーザをOmniPassl ご追加	
	🤌 OmniPassからユーザを削除	
	🎒 ユーザのOmniPassプロファイルのバックアップ	<u> </u>
	🛃 ユーザのOmniPassプロファイルの復元	
	🛃 ユーザーのデバイス登録の変更	- /
マ ヘルプ		完了

5-3-7.

復元したいユーザープロファイルが保存されている場所とファイル名を指定し、「開く(<u>O</u>)」をクリックします。

復元するユーザプロフ	ファイルを開く	1.0	NUMBER TO	ARRING STR	×
ファイルの場所(1):	📃 デスクトップ			🛍 📥	.
(Ha)	名前		サイズ	種類	更新日時
最近表示した場所	sakamoto				
	퉬 パブリック				
	🌉 コンピュータ				
テスクトッフ	👰 ネットワーク				
	🚳 MyProfile.opi		4 KB	OmniPass Import	2007/02/16 15:55
sakamoto	🚳 suzuki.opi		4 KB	OmniPass Import	2007/02/19 19:17
コンピュータ					
<u></u>					
ネットワーク	•		III		•
	ファイル名(N):	suzuki.opi		•	100
	ファイルの種類(工):	OmniPass <u>7</u>	ーザプロファイル (*ェ	opi) 💌	キャンセル

5-3-8.

ユーザープロファイルのバックアップ を行ったときに設定したパスワードを 入力し、「OK」をクリックします。

バックアップファイル	いのパスワード
ユーザのバックアップ: 力してください。 この クアッププロファイルを	クロファイルを保護するのに使ったパスワードを入 パスワードは、ユーザ情報を復元するためにバッ ロック解除する際に必要になります。
パスワード:	ОК

5-3-9.

ユーザープロファイルのバックアップ を行った時に使用していた「ユーザー 名」・「ドメイン名」・「パスワード」を入 カして「次へ」をクリックします。

🕒 ն ב-שלים	ファイルの復元	
	このユーザーブロファ 定した認証情報を使 したブロファイルはこの ユーザー名: ドメイン: パスワード:	・イルを復元するユーザー認証情報を入力してください。指 って新しいOmniPassブロファイルが作成され、バックアップ の新しいユーザーアカウントに復元されます。 Suzuki SAKAMOTO-PC (ローカルマシン ▼
		次へ

5-3-10.

「ユーザーの復元処理完了」のメッセー ジが表示されます。 「OK」をクリックします。



第5章 OmniPassSEの管理と設定 **ComniPassSE**の 5-4. OmniPassSE コントロールセンターその他の設定

OmniPassSE のその他の設定機能について説明します。

■ユーザーのデバイス登録の変更

「認証デバイスの登録」は、既に登録されたユーザーについて、別の指の指紋データも追加登録したい場 合に使用します。

5-4-1.

OmniPassSE コントロールセンターを 起動し、「登録ウィザードの実行」を選択 します。

右画面より「ユーザーのデバイス登録の 変更」をクリックします。



以後の操作は、「3-2.0mniPassSE ユー ザー登録」の 3-2-3 からの手順と同じで す。

■認証デバイスの必須設定

5-4-2.

OmniPassSE コントロールセンターを 起動し、「ユーザー設定の変更」を選択し ます。

右画面より「ユーザ認証規則とポリシーの設定」をクリックします。



5-4-3.

認証規則の設定のための認証を行いま す。



5-4-4.

認証デバイスの必須設定では、

①WindowsとOmniPassへのログオン
 ※ Windows10/8.1 ではローカルアカ
 ウントを使用する必要があります。

②アプリケーションパスワードと Web サイトパスワードの置換

③ファイルとフォルダの暗号化と復号化 ④ユーザー管理機能

を行う際に、それぞれの認証方式(指紋認証/パスワード認証)を必須とするか否かの設定を行うことができます。

デバイス名	Windowsと OmniPassへのロ グオン	アプリケーション パスワードとWeb サイトパスワード の置換	ファイルとフォルダ の暗号化と復号化	ユーザー管理# 能
😽 マスター パスワードの認証				
SREX-FUS4 指紋センサー				
■ 緊急ポリジーオーバーライ 機能 □ にする	lを有効	設定		

■緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にする

「緊急ポリシーオーバーライド機能を有効にす る」にチェックを入れると、認証が必要な操作で認 証できない場合に、設定した回答を入力することで 認証作業を回避することができます。

設定方法は以下の通りとなります。

「認証規則の設定」ダイアログで「設定」ボタンを クリックします。

「認証用の質問と回答を選択」ダイアログが出力 されますので、質問 1~3 を選択し、回答 1~3 に 回答を入力します。

「OK」ボタンをクリックします。

デバイス名	Windowsと OmniPassへのロ グオン	アプリケーション パスワードとWeb サイトパスワード の置換	ファイルとフォルダ の暗号化と復号化	ユーザー管理(能
マスター パスワードの認証				
SREX-FSU4G指数セン サー				
■ 緊急ポリジーオーバーライ 機能	bを有効	設定		



ユーザーログオンの認証

③ SREX-FSU4G 指紋センサー

使用方法は以下の通りとなります。 認証画面の「ログインできません」をクリックしま す。

「緊急ポリシーオーバーライド」ダイアログが出力 されますので、ユーザー名とドメイン名を入力し 「OK」ボタンをクリックします。

OmniPassが緊急が ようユーザ名とドメ	Rリシーオーバーライドの要求を処理できる インを入力してください。
ユーザー名:	administrator
ドメイン:	TEST-PC

NomniPass 🕜 🗙

ログインできません

設定した回答 1~3 を入力し「OK」ボタンをクリックします。

🕜 認証用の質問と回	回答を選択		X
?	OmniPassでは、パスワードを忘れたり認語デン ダインできます。以前に設定した認証用の質問 質問の右側にあるボックスに以下の質問の回	「イスにエラ 副の回答を」 答を入力し	ラーが発生したりしてもロ 入力してください。 -てください。
	質問1: 初めて飼ったべっトの名前は?	*	
	質問2:		回答2:
	子供のときに好きだった食べ物は?	*	
	質問3:		回答3:
	子供のときに住んでいた町は?	Ŧ	
			REFE
			OK

■OmniPassSE へのログオン設定

Windows ログオンユーザーが OmniPassSE の機能を使用するためには、OmniPassSE ヘログオ ンする必要があります。

OmniPassSE コントロールセンターを起動し ます。右画面より、「システム設定の変更」メ ニューを選択し「OmniPass 起動オプションの 変更」をクリックします。



「起動オプション」より3種類の

OmniPassSE へのログオン方法を選択するこ とができます。

- (1) 現在の Windows ユーザーとして
 OmniPass に自動的にログオンする
 (デフォルト値)
- (2) 起動時に手動で OmniPass にログオンする
- (3) 起動時に OmniPass にログオンしない



(1)の設定が選択されていると、Windows にログオンした後、Windows 起動後に OmniPassSE に自動的にログオンします。

(2)の設定が選択されていると、OmniPassSE は Windows 起動後にユーザーに OmniPassSE に ログオンするように要求します。

(3)の設定が選択されていると、OmniPassSE はユーザーに OmniPassSE にログオンするように 要求しません。 タスクバーに登録された鍵マークの OmniPassSE 上にカーソルを移動することに より、現在 OmniPassSE にログオンしている ユーザー名を確認することができます。



同様にマウス右クリックより、「ユーザーのロ グオン(L)」もしくは「現在のユーザーのログア ウト(C)」を選択することにより、Windows を起動したまま OmniPassSE ログオンユーザ ーを切り替えることができます。

	開く(O)		
	ユーザーのロ	グオン(L)	
	ユーザーのロ	グアウト(C)	
	ユーザーIDの)切り替え(S)
	パスワードの	記憶(R)	
	ヘルプ(H)		
	バージョン情	報(A)	
•	終了		
	う む む む	₹ ⊗	14:16 2016/02/09

■暗号化/復号化の設定

OmniPassSE コントロールセンターを起動 し、「ユーザー設定の変更」を選択します。 右画面より「ファイル暗号化設定の変更」をク リックします。



「アルゴリズムの選択」から、
>RSA Data Security's RC2
>RSA Data Security's RC4
>Data Encryption Standard (DES)
>Two Key Triple DES
>Three Key Triple DES
を選択することができます。上から下の順で暗
号化セキュリティの信頼性は高くなりますが、
暗号化・復号化に要する時間は長くなります。

() OmniPass > ⊥	ーザー設定>暗号化
アクション 現在のユーザのログアか ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ・ ファイル暗号化設定の変更 ・ 管号/道号に使用するデジタル証明書の選択: ○ mmPass ローミングプロファイルを使用します
😨 ヘルプ	言語
ユーザ情報 # 446のユーザ: salamoto で ドメイン: SAKANOTO-PC バージョン詳細 バージョン: 3.00.22 ビルド番号: A37320008	暗号アルゴリズムの選択: RSA Data Security's RC2 キーの長さ(ビット)の)選択: 128 Softex Roaming Profileまたはシステムにすでにインストールされているデ ジタル証明書のどちらかを選択できます。 注: 他のデジタル証明書を知らな過去を含まった。システムが故境したときにこの 証明書を再インストールできることを確認してください。証明書をシステム から前除すると、暗号ファイルを回復できなくなります。 文更をすべて保存 ✓

■サウンドの設定

OmniPassSE コントロールセンターを起動し、 「ユーザー設定の変更」を選択します。 右画面より「ユーザオーディオ設定の変更」をク

石画面より「ユーリオーティオ設定の変更」をつ リックします。



OmniPassSE のイベント(例えば、ログオン認 証に成功した時、認証が拒否されたときなど)を サウンドでユーザーに通知する方法を設定でき ます。

フカション	
	▶ フーザオーディオ設定の変更
現在のユーザのロクアウト	
🔋 ユーザーIDの切り替え	the state of the s
パスワードウィザード	◎ WAVファイルによるサウンドブロンプト
情報	OmniPass操作中に音を鳴らします。コントロールパネルの「サウンドと
へルブ	オーディオデバイスのブロバティ」のOmniPassセクションの設定によって、鳴らす音を変更できます。
フーザ情報	◎ ビーブブロンプトのみ
	OmniPass操作中にシステムビープ音を鳴らします。
sakamoto	◎ サウンドプロンプトなし
F አብን።	
	Children and Will Frice 1845 Jac C 708
<u>バージョン詳細</u>	1110781
バージョン	201138°
5 00 22	
5.00.22	
C//F留写-	
	1 com ann

■タスクバーヒントの設定

OmniPassSE コントロールセンターを起動し、 「ユーザー設定の変更」を選択します。 右画面より「ユーザに表示するタスクバーヒント の変更」をクリックします。



タスクバーのヒントを表示するという設定に していれば、OmniPassSEは「パスワードを記 憶」できるタイミングを常に通知しますので、ユ ーザーにログオンを要求する任意の認証イベン トを記憶することができます。



■認証ウィンドウの設定

OmniPassSE コントロールセンターを起動し、 「ユーザー設定の変更」を選択します。 右画面より「認証ウィンドウ設定の変更」をクリ ックします。



「透明な認証ウィンドウ」を選択すると、認証画 面の透明度を設定することができます。





RATOC SREX-FSU4G 質問用紙

●下記情報をご記入願います。

法人登録の	会社名・学校名			
方のみ	所属部署			
ご担当者名				
E-Mail				
住所	┮			
TEL		FAX		
製品型番		シリアルNo.		
ご購入情報	販売店名		購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカ名と機種名】

【ご利用の OS】

【OmniPassSEバージョン】

【お問合せ内容】

【添付資料】

▲ 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務 のみに利用し、他の目的では利用致しません。



